



どうにかする力

泗水小学校だより
R4. 11. 14(月)
No. 31
校長 工藤竜一

【校訓】 なかよく つよく しんけんに
【学校教育目標】 自立する泗水っ子の育成
～「生きる力=どうにかする力」を育む教育活動を通して～

秋本番の泗水小！～地域や保護者の皆様のご協力ありがとうございます～

朝夕が冷え込むようになってきて、季節がいよいよ秋から冬に近づこうとしています。11月7日(月)には、泗水小スクールガーデニングクラブの皆様が来校され、緑化委員会の児童と一緒に花壇の花の植え替えをしていただきました。事務局をされている安武節先生は、作業がしやすいようにと、前日にも来校されて、花壇の周囲を整理していただいていたいました。



また、11月3日(木)文化の日に開催された「しすいコスモスマラソン大会」で会場を彩っていたプランターのコスモスを、大会事務局から泗水小に提供いただきました。翌日、吉村PTA会長をはじめ役員の方々と、校内の通路にプランターを並べていただき、「泗水小コスモスロード」ができています。



本校の教育環境整備のためにご尽力いただいている皆様、本当にありがとうございます。

若手の先生方を支える仕事～育成支援加配教員・津幡光浩先生の紹介～

本年度から泗水小に勤務されている先生として、育成支援加配教員の津幡光浩先生がおられます。この3月に泗水西小校長を定年退職され、再任用で、主に新採6年目までの若手の先生方を育成する教員として勤務されています。



授業を見ながら、児童への助言もされています。

泗水小は、新採6年目までの担任の先生が9人います。津幡先生は、これらの先生方の授業を記録を取りながら参観し、授業後に良かったところや改善が必要など先生方に丁寧に助言されています。いつも授業に入られているので、子どもたちもわからないところを津幡先生に質問したりして、学習意欲の向上にもつながっています。

また、若手の先生方だけでなく、その他の先生方も、授業や学習構想案(どんな授業をするのかを計画した文書)を見ていただいて助言を受けたりしています。さらに、昼休みは毎日、運動場で子どもたちと遊んでいただいております。子どもたちに大人気の先生です。

津幡先生の支援のおかげで、先生方がどんどん授業力をつけてきています。このことが、今後、泗水小の子どもたちの学力向上につながっていくものと大変期待しています。

☆校長室から独り言28☆

中3夏休みの思い出②～必ずやってくる「進路選択のとき」～

前回の続きを書きます。中3の頃、実は行きたい高校がありました。進学校で甲子園も狙えるあの高校です。しかし、旧旭志村は校区外。当時は校区外5%枠でしたので、相当な難関です。「自分の家が泗水だったらなあ」と思ったものです。野球部の一つ上の先輩2人が校区外受験して、いずれも不合格でした。

親は、「大学は東京の私立でも行かせるから、高校は県立にしてほしい」と言っていました。絶対に合格するという自信もありません。夏休みに通った塾で、熊本市内の中学3年生が、いかに必死に受験勉強をしているかを肌で感じてきました。彼らとの競争で勝てるのだろうか。夏休みのような生活を3月まで続けるのはきつい。そして、たとえ合格したとしても、毎日自転車で往復20km、それからバス通学という生活で勉強と部活の両立ができる根性が自分にはあるのだろうか。いろいろ悩んだ末に、菊池高校に進学するという選択をしました。

今でもこの時の選択に後悔はありません。どの高校に行こうか、どの大学に行こうか、そこでどんな目標を持ち、何に打ち込むかが大事です。泗水小の子どもたちも、早い子は6年生から、「進路選択のとき」が始まります。しかし、「どこで学ぶか」よりも、「そこで何を学ぶか」が大事であることを伝えていきたいと思っております。